

第8 健康づくり活動の推進

※東日本大震災及び原子力災害により被災者健康支援活動を優先したため、下記の事業については実施できなかった。

- 1 生涯にわたる健康づくり推進
 - (1) 健康づくりの県民運動推進と普及啓発
 - ア 地域保健・職域保健連携事業の実施
 - (2) 栄養・食生活改善事業の推進
 - ア 福島県食育計画に基づく食育普及啓発
 - イ 市町村栄養改善事業の支援・事業
- 2 難病対策の推進
 - (1) 難病在宅療養者支援体制の整備
 - ア 難病患者地域支援連絡調整事業の実施
 - イ 難病ボランティア育成事業の実施
- 3 歯科保健対策の推進
 - (1) 市町村歯科保健強化推進事業の実施
 - ア 歯科保健情報システムの運用実施
 - イ 市町村歯科保健強化推進研修会の開催

1 生涯にわたる健康づくりの推進

(1) 健康づくり県民運動の推進と普及啓発

① 「健康ふくしま21計画」推進食環境整備事業

飲食店等に、メニューの栄養成分表示や健康に配慮した食事の提供に取り組んでもらうことで、望ましい食生活を選択できる食環境を整備することを目的とした「うつくしま健康応援店」事業を推進した。

- 登録店舗数（平成24年3月末現在）： 64店舗（震災後、休業している23店舗を含む）
- 平成23年度新規登録： 10店舗
- 平成23年度登録取消（辞退）数： 14店舗（震災後、事業継続が困難となった店舗）
- 個別相談・指導： 延べ120件
- 健康づくり講座の実施： 28店舗28名

(2) 栄養・食生活改善事業の推進

① 特定給食施設等に対する栄養指導

管内の特定給食施設及び小規模特定給食施設に対して指導を実施した。

巡回指導件数は、特定給食施設40施設に対し29施設で指導率72.5%、小規模特定給食施設は40施設に対し28施設で指導率70.0%となっている（休止中の103施設を除く）。

特定給食は、喫食者の健康はもとより、家族、地域の健康づくりに波及することが考えられることから、喫食者の特性、栄養管理の状況、栄養士の有無等施設の状況に合わせて、計画的・効果的に指導を実施していく必要がある。

特に、若年期からの生活習慣病予防、勤労者の健康づくり、高齢者の低栄養予防等の観点から、施設の健康管理部門と連携した給食提供が図られるよう指導助言を行っていく。

◆平成23年度給食施設数及び巡回指導件数（平成24年3月末現在）

規模別実施状況	栄養士配置	配置数	指導数	指導率	施設別実施状況	※施設数	指導数	指導率
特定給食施設 (1回100食以上 1日250食以上)	有	25	18	72.0	学 校	29	19	65.5
	無	15	11	73.3	病 院	8	6	75.0
	小計	40	29	72.5	介護老人保健施設	4	4	100.0
小規模特定給食施設 (1回20食以上 1日50食以上)	有	17	14	82.3	老人福祉施設	14	14	100.0
	無	23	14	60.8	児童福祉施設	13	10	76.9
	小計	40	28	70.0	社会福祉施設	3	3	100.0
全 施 設	有	42	32	76.1	事業所	7	1	14.2
	無	38	25	65.7	寄宿舍	1	0	0
	合計	80	57	71.2	自衛隊	1	0	0
					その他	0	0	0
					合計	80	57	71.2

※休止中の103施設を除く

- 個別指導（来所及び電話）：57件
- 集団指導：実施回数1回、施設数14施設、人数38名
- 設置・変更・廃止届出件数：166件（設置届2件、変更届49件、廃止届4件、休止届111件）

② 健康増進法に基づく食品表示等の普及啓発及び相談

食品業者等に対して、健康増進法第31条（栄養表示基準）及び第32条の2（誇大表示の禁止）に関する相談及び指導を行う。

- 個別相談・指導：1件

③ 地区組織（食生活改善推進員）育成・支援

食生活改善推進員は、地域に密着した健康づくり活動を実施しており、「健康ふくしま21計画」や、福島県食育推進計画において、その活動が位置づけられている。そのため、食生活改善推進員が自主的に積極的な活動できるよう助言及び支援を行った。

- 平成23年度の管内食生活改善推進員数：378名
- 個別支援（協議会運営に関する助言）：実施回数 44回、44人
- 集団（研修会、会議等）：実施回数 3回、97人

④ 栄養士・管理栄養士指導事業

- 栄養士申請書進達事務：16件
- 管理栄養士申請書等進達事務：4件
- 管理栄養士国家試験等の事務指導：2件
- 栄養士・管理栄養士学生実習指導：0回 0人
- 電話相談等：36件

⑤ 栄養指導状況

健康の保持・増進を図るため各種事業を通して個別・集団で栄養指導を実施した。

管内市町村における常勤管理栄養士・栄養士の配置は4市町（配置率33%）で、県の配置率66.7%（中核市を除く）を下回っている状況にあり、地域住民のニーズに応じた保健栄養指導を効果的に推進するために、今後も未配置町村に対して、管理栄養士・栄養士の配置を働きかけていく必要がある。

2 難病対策の推進

昭和 47 年に、国が「難病対策要綱」を定め、①原因不明、治療方法が未確立であり、かつ後遺症を残す恐れが少ない疾病、②経過が慢性にわたり、単に経済的な問題のみならず介護等に著しく人手を要するために家族の負担が重く、また精神的にも負担の大きい疾病を難病対策として取り上げる疾病とした。

難病対策については、①調査研究の推進、②医療施設の整備、③医療費の自己負担の軽減、④地域における保健医療福祉の充実・連携、⑤QOL の向上を目指した福祉施策の推進を 5 本の柱として対策が進められている。

(1) 難病在宅療養者支援体制整備事業

長期療養を続ける在宅難病患者の日常生活動作の程度や病状、病態等に応じた保健・医療・福祉サービスの提供等の適切な支援を行うことにより、患者及び家族の生活の質の向上を図ることを目的としている。

① 相談指導

保健師、栄養士、歯科衛生士等による家庭訪問、電話、所内及び所外における相談指導を行い、難病患者及びその家族の療養生活、受療等に関する相談に応ずるとともに、保健・医療・福祉サービス等に関する情報提供を行うなど療養生活の支援を実施した。

◆平成 23 年度所内相談実施状況

実人数	延人数	相談内容(再掲・延人数)								
		申請等	医療	家庭介護	福祉制度	就労	就学	食事栄養	歯科	その他
277	338	273	2	1	0	0	0	0	56	6

○電話相談 延件数 1,073 件

○家庭訪問指導 件数 実 10 件、延 17 件

② 医療相談事業

管内で認定患者数の多い疾患を中心に、患者や家族に対して、難病に関する専門医師等により医療及び療養生活に関する相談や助言等を行い、疾病に対する不安の軽減や患者・家族の交流を深めることを目的として実施した。

◆平成 23 年度医療相談事業実施状況

対象疾患	開催年月日・会場	テーマ	参加者	スタッフ
パーキンソン病	平成 24 年 3 月 21 日(水) 南相馬市鹿島保健センター	講話及び運動の実技 「運動機能を保つために」 交流会	23 名	理学療法士 保健師 歯科衛生士
全疾患対象	平成 24 年 3 月 27 日(火) いわき市総合保健福祉センター	講話及びお口を元気にする体操 「お口の機能を保つために」 交流会	4 名	専門医 保健師 歯科衛生士

(2) 特定疾患治療研究事業

平成 24 年 3 月 31 日現在、認定患者（概数）は 46 疾患、1,312 名（別表 P70～71）で、医療費公費負担の対象となっている。

(3) 先天性血液凝固因子障害等治療研究事業

先天性血液凝固因子障害等患者の置かれている特別な立場に鑑み、その患者の医療保険の自己負担分を治療研究事業として公費負担することにより、患者の医療費負担の軽減を図り、精神的、身体的不安を解消することを目的に実施している。

◆平成 23 年度承認件数 3 件

(4) 遷延性意識障がい者治療研究事業

遷延性意識障がい者に対する治療は極めて困難であり、かつ長期にわたりその医療費も高額となるので、意識障がい者に対する医療の確立と普及を図るとともに、患者の医療費の負担軽減を図ることを目的に実施している。

◆平成 23 年度対象患者数 2 名

特定疾患治療研究事業認定状況(概数)

(別表)

疾患別・市町村別		平成24年3月31日現在(概数)							
	対象疾患名	相馬市	南相馬市	広野町	楡葉町	富岡町	川内村	大熊町	双葉町
1	パーチェット病	9	13	2	3	1	1	2	1
2	多発性硬化症	2	12	1	0	0	0	2	1
3	重症筋無力症	7	16	2	1	1	0	0	0
4	全身性エリテマトーデス	13	41	3	1	9	1	4	5
5	スモン	0	0	0	0	0	0	0	0
6	再生不良性貧血	6	4	0	0	1	0	2	0
7	サルコイドーシス	3	13	1	1	1	0	2	0
8	筋萎縮性側索硬化症	12	4	0	0	1	0	3	0
9	強皮症・皮膚筋炎・多発性筋炎	12	21	2	3	1	0	0	2
10	特発性血小板減少性紫斑病	12	13	0	0	2	0	2	1
11	結節性動脈周囲炎	4	2	0	0	0	0	0	4
12	潰瘍性大腸炎	42	60	0	9	12	2	7	5
13	大動脈炎症候群	1	8	0	1	0	0	0	1
14	ピュルガー病	1	8	0	0	1	0	0	0
15	天疱瘡	0	5	0	0	0	0	1	1
16	脊髄小脳変性症	16	12	0	1	0	0	3	1
17	クローン病	9	11	0	3	2	0	4	3
18	難治性肝炎(劇症肝炎)	0	0	1	0	0	0	0	0
19	悪性関節リウマチ	1	4	1	0	0	0	1	0
20	パーキンソン病関連疾患	62	82	5	9	16	2	8	8
21	アミロイドーシス	1	1	0	0	0	0	0	0
22	後縦靭帯骨化症	12	33	3	1	6	0	3	2
23	ハンチントン病	0	0	0	0	0	0	0	0
24	ウイルス動脈輪閉塞症	2	16	0	1	1	0	0	0
25	ウエゲナー肉芽腫症	1	2	0	0	0	0	0	0
26	特発性拡張型(うっ血型)心筋症	16	22	0	1	4	0	2	2
27	多系統萎縮症	1	8	0	0	3	1	0	0
28	表皮水泡症	0	1	0	0	0	0	0	0
29	膿疱性乾癬	1	0	0	1	0	0	0	0
30	広範脊柱管狭窄症	3	2	0	1	0	0	0	0
31	原発性胆汁性肝硬変	5	14	1	0	1	0	0	1
32	重症急性膵炎	0	2	0	0	0	0	0	1
33	特発性大腿骨頭壊死症	9	17	0	0	2	1	0	3
34	混合性結合組織病	4	6	2	0	1	0	1	0
35	原発性免疫不全症候群	1	0	0	0	0	0	0	0
36	特発性間質性肺炎	1	2	0	1	2	0	0	0
37	網膜色素変性症	12	33	1	0	7	2	6	7
38	プリオン病	0	0	0	0	0	0	0	0
39	原発性肺高血圧症	2	0	0	0	0	0	1	0
40	神経繊維腫症	1	3	0	1	0	0	0	0
41	亜急性硬化性全脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
42	バット・キアリ症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
43	特発性慢性肺血栓塞栓症	0	0	0	0	0	0	0	0
44	ライソゾーム病	0	0	0	0	0	0	0	0
45	副腎白質ジストロフィー	0	0	0	0	0	0	0	0
46	家族制高コレステロール血症(ホモ接合体)	0	0	0	0	0	0	0	0
47	脊髄性筋萎縮症	0	0	0	0	0	0	0	0
48	球脊髄性筋萎縮症	0	2	0	0	0	0	0	0
49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	0	1	0	0	0	0	0	0
50	肥大型心筋症	1	1	0	0	1	0	2	0
51	拘束型心筋症	0	0	0	0	0	0	0	0
52	ミトコンドリア病	0	0	0	1	0	0	0	0
53	リンパ脈管筋腫症(LAM)	0	0	0	0	0	0	0	0
54	重症多形滲出性紅斑(急性期)	0	0	0	0	0	0	0	0
55	黄色靭帯骨化症	2	0	1	0	0	0	0	1
56	間脳下垂体機能障害	11	12	0	0	3	1	3	1
	計	298	507	26	40	79	11	59	51

平成24年3月31日現在(概数)

	対象疾患名	浪江町	葛尾村	新地町	飯館村	計	22年度	21年度	20年度	19年度	18年度
1	パーチエット病	4	0	1	2	39	39	37	34	35	34
2	多発性硬化症	1	2	0	0	21	19	17	16	15	14
3	重症筋無力症	2	0	2	0	31	29	22	24	23	21
4	全身性エリテマトーデス	12	0	1	4	94	98	95	93	90	91
5	スモン	0	0	0	0						
6	再生不良性貧血	1	0	2	2	18	16	14	12	9	9
7	サルコイドーシス	3	1	1	0	26	30	27	28	26	22
8	筋萎縮性側索硬化症	1	0	1	1	23	21	16	18	13	15
9	強皮症・皮膚筋炎・多発性筋炎	7	0	5	1	54	57	50	50	46	41
10	特発性血小板減少性紫斑病	6	0	3	1	40	42	37	39	37	34
11	結節性動脈周囲炎	0	0	1	0	11	12	10	9	8	6
12	潰瘍性大腸炎	26	0	11	3	177	172	149	146	148	134
13	大動脈炎症候群	4	0	0	1	16	16	15	14	13	11
14	ビュルガー病	3	0	0	0	13	14	14	15	16	18
15	天疱瘡	1	0	0	1	9	8	6	3	3	2
16	脊髄小脳変性症	4	1	0	0	38	38	35	33	29	27
17	クローン病	1	1	2	0	36	29	26	24	21	23
18	難治性肝炎(劇症肝炎)	0	0	0	0	1	1				1
19	悪性関節リウマチ	4	0	1	0	12	12	11	10	11	8
20	パーキンソン病関連疾患	19	2	8	5	226	231	197	171	159	153
21	アミロイドーシス	0	0	0	0	2	2	1	1		
22	後縦靭帯骨化症	5	0	3	1	69	78	70	63	56	48
23	ハンチントン病	0	0	0	0						
24	ウイルス動脈輪閉塞症	6	1	1	0	28	26	25	24	21	23
25	ウエグナー肉芽腫症	0	0	0	0	3	3	3	3	3	3
26	特発性拡張型(うっ血型)心筋症	6	4	1	6	64	65	59	54	52	46
27	多系統萎縮症	0	0	2	0	15	16	13	13	13	13
28	表皮水泡症	0	0	0	0	1	2	2	2	2	2
29	膿疱性乾癬	0	0	0	0	2	2	2	3	3	3
30	広範脊柱管狭窄症	0	0	0	0	6	6	4	4	3	2
31	原発性胆汁性肝硬変	1	0	1	1	25	24	24	24	22	18
32	重症急性膵炎	1	0	1	0	5	5		1		
33	特発性大腿骨頭壊死症	4	0	0	1	37	39	36	32	28	24
34	混合性結合組織病	3	0	0	1	18	18	18	19	19	18
35	原発性免疫不全症候群	0	0	0	0	1	2	2	2	2	2
36	特発性間質性肺炎	2	0	1	0	9	12	8	6	5	5
37	網膜色素変性症	5	1	2	1	77	76	73	74	77	76
38	プリオン病	0	0	1	0	1	2	2	2	1	3
39	原発性肺高血圧症	0	0	0	1	4	2	2	1	1	1
40	神経繊維腫症	0	0	0	0	5	5	3	4	5	3
41	亜急性硬化性全脳炎	0	0	0	0						
42	バット・キアリ症候群	1	0	0	0	1	1	1	1	1	1
43	特発性慢性肺血栓塞栓症	1	0	0	0	1	1				
44	ライソゾーム病	0	0	0	0						
45	副腎白質ジストロフィー	0	0	0	0						
46	家族制高コレステロール血症(ホモ接合体)	0	0	0	0						
47	脊髄性筋萎縮症	0	0	0	0						
48	球脊髄性筋萎縮症	0	1	0	0	3	3	1			
49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	0	0	0	0	1	1				
50	肥大型心筋症	1	0	0	0	6	4	1			
51	拘束型心筋症	0	0	0	0						
52	ミトコンドリア病	0	0	0	0	1					
53	リンパ脈管筋腫症(LAM)	0	0	0	0						
54	重症多形滲出性紅斑(急性期)	0	0	0	0						
55	黄色靭帯骨化症	0	0	0	0	4	5	1			
56	間脳下垂体機能障害	3	0	1	3	38	31	11			
	計	138	14	53	36	1312	1315	1140	1072	1017	955

3 原爆被爆者対策

「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」（以下、「被爆者援護法」という。）に基づき、被爆者健康手帳及び第一種又は第二種健康診断受診者証の交付を行うとともに、被爆者の健康管理のための健康診断と保健指導を実施している。

また、認定疾病及び一般疾病に対する医療の給付並びに各種手当を支給することによって、被爆者の健康維持と福祉の向上を図っている。

◆管内被爆者数 (平成 24 年 3 月 31 日現在)

総 数	南相馬市	相馬市	大熊町	新地町	飯館村	※富岡町
9	5	1	1	1	1	1

※第二種健康診断受診者証交付者

◆被爆者援護法第 11 条第 1 項（いわゆる原爆症）認定者数（平成 24 年 3 月 31 日現在）

南相馬市 1 名

◆平成 23 年度被爆者健康診断（一般検査・がん検診）実施状況

健診区分	項 目	実施人数	健診結果			
			異常なし	精密検査	要治療	経過観察
一般検査	1回目	3	2	0	1	0
	2回目	6	1	3	1	1
胃がん検診		3	2	0	0	1
肺がん検診		6	6	0	0	0
大腸がん検診		5	4	1	0	0
多発性骨髄腫検診		6	5	1	0	0
乳がん検診		0	0	0	0	0
子宮がん検診		0	0	0	0	0

◆原爆被爆者各種手当受給状況（平成 24 年 3 月 31 日現在）

手当受給者数	医療特別手当	健康管理手当
8人	1人	7人

4 歯科保健対策の推進

歯・口腔の健康づくりは単に歯科疾患の予防や治療のみならず、全身状態の改善や生活の質(QOL)を高め、生き生きとした生活を送るためにも重要である。

当地域では、「一生自分の歯で快適な生活」の実現に向けて、住民一人一人が実践する健康づくりを基本に、家庭、学校、職域、地域が一体となった生涯を通じた歯・口腔の健康づくりを推進している。

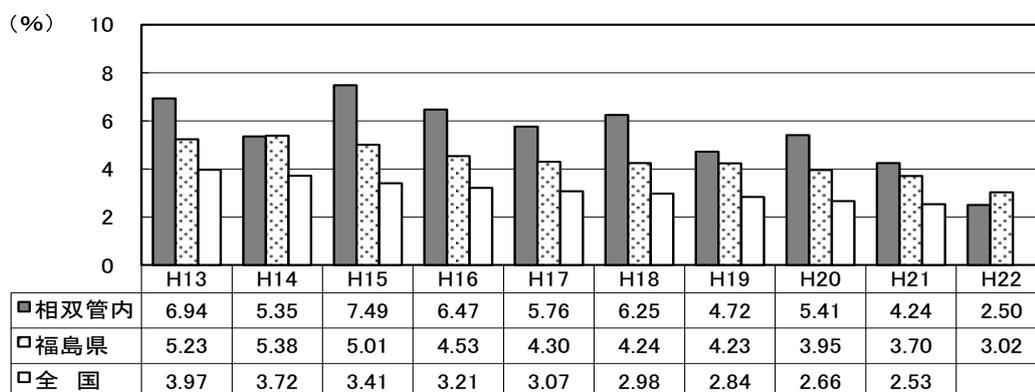
(1) 市町村歯科保健強化推進事業の実施

① 1歳6か月児及び3歳児歯科健康診査実施状況

平成22年度における歯科健診データについては、震災、原発事故の影響により管内全市町村からのデータ集約が難しく、データ提供があった7市町村（相馬市、南相馬市、富岡町、川内村、葛尾村、新地町、飯館村）の健診データに基づいている。

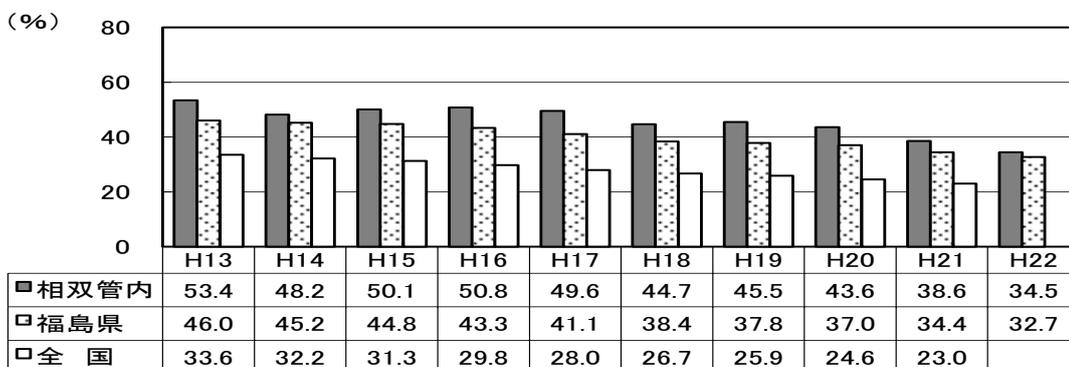
管内の1歳6か月児及び3歳児のむし歯有病者率は、県・全国と比較して高く推移しているが年々減少傾向にある。また、3歳児の一人平均むし歯本数においても、年々減少傾向は示しているものの、県・全国平均との較差はほとんど変わらず推移している。むし歯発症の背景となる乳幼児の日常生活や育児環境に注目し、個々のリスク要因に応じた具体的な指導・支援の充実を図っていく必要がある。

◆1歳6か月児むし歯有病者率の年度推移



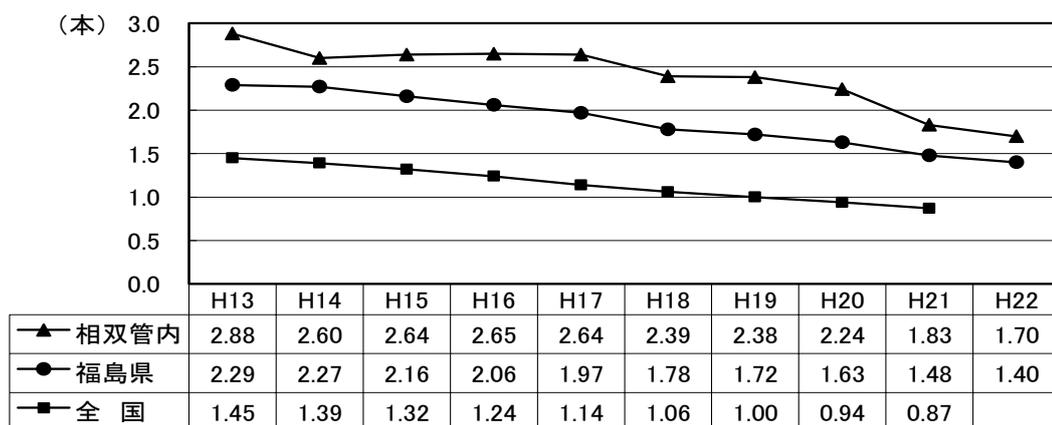
(出典：母子保健事業実績報告)

◆3歳児むし歯有病者率の年度推移



(出典：母子保健事業実績報告)

◆3歳児一人平均むし歯本数の年度推移



(出典：母子保健事業実績報告)

② 市町村歯科保健強化推進検討会

地域における歯科保健事業を効果的・効率的に実施するため、地域の歯科保健情報を基に課題等を明らかにし、その対応や解決を図るとともに事業の実施体制の整備に資することを目的に開催した。

開催年月日・会場	出席者数	検討事項
平成24年3月22日(木) 相双保健福祉事務所	歯科医師会、歯科衛生士会 相馬市、南相馬市 計7名	(1) 幼児歯科健康診査事業について (2) 被災者歯科支援活動について

(2) 歯周疾患予防出前セミナー

事業所職員を対象に、歯周疾患予防に関する正しい知識・技術の普及啓発を図り、歯周疾患予防に対する意識の向上や予防行動を促すとともに、職場の健康づくりとして歯周疾患予防に取り組むための支援を行った。

実施年月日	実施場所	参加者数	実施内容
平成24年2月13日(月)	ソマ株式会社	社員 53名	①歯周病予防に関する健康講話 ②ペリオスクリーン検査 ③ブラッシング指導 ④アンケート調査

(3) ヘル歯一ケア推進事業

難病患者、障がい児者等の在宅療養者及び家族、障がい・児者施設、高齢者福祉施設等に入通所している要介護者や同施設の職員等に対して、口腔ケアの自立と介護者による援助を支援するため口腔保健指導や研修会等を実施し、口腔衛生状態の改善や口腔機能の維持・向上に努めた。

特に、難病患者や障がい者に対しては、個々の状況に応じた適切な援助ができるように、関係職種と連携を図りながら、訪問等による口腔ケア支援に努めた。

◆平成23年度口腔保健指導実施状況

訪問指導			所内・所外相談		介護施設等の研修・指導	
難病患者	障がい児・者	その他	難病患者	障がい児・者	利用者等	職員等
11(12)	4(4)	3(3)	35(35)	0	120(974)	35(45)

※（ ）内は延人員

(4) 歯っぴいライフ8020推進事業

「8020（ハチマルニマル）」を目指した歯の健康づくりを推進するため、地域住民に広く歯科保健に関する知識・技術の普及啓発を図った。

また、平成4年度からは住民を対象に、80歳以上で自分の歯を20本以上保有している者の認定表彰を行い、8020運動の積極的な推進を図っている。相双地域における平成23年度8020認定表彰者数は24人で、福島県全体の5.0%となっている。

◆歯っぴいライフ8020認定者数

年度	福島県	相双地域
平成18年度	422人	44人(10.4%)
平成19年度	546人	73人(13.4%)
平成20年度	533人	73人(13.7%)
平成21年度	589人	52人(8.8%)
平成22年度	587人	65人(11.1%)
平成23年度	477人	24人(5.0%)

◆平成23年度市町村別認定者数

市町村	認定者数
相馬市	5人
南相馬市	14人
新地町	4人
飯舘村	1人